

# 国鉄の仲間・家族、争議団の仲間も多数参加し、 6.20東京三多摩地区上映会 240名で大成功

日刊 動労千葉

86. 6. 26

No. 2276

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）  
（鉄電）二九三五・六（公衆）〇四七二二七二〇七

「俺たちは鉄路に生きる」全国上映集会の、第四弾Ⅱ東京・三多摩地区上映会は、六月二〇日、立川市民会館において、東京東部・西部・神奈川上映会の成功にひきつづいて開催された。この「六・二〇立川上映会」には、国労・日教組・自治労、そして労争連に結集する労働者を先頭として市民・学生二四〇名が結集するなか大成功をかちとった。

## 分割・民営化攻撃は、 われわれ自身への攻撃

十八時すぎ、武蔵野市職の仲間が上映会の開会を宣言した後、スクリーンに動労千葉一〇〇名組合員が国鉄「分割・民営化」一十万人首切り攻撃に抗し敢然とストライキで実力決起した姿が写しだされ、参加者はかたずをのんで見入った。

上映会は、途中、約十分間ほど映写機のアクシデントがあつたが、権力・当局の異常なまでの弾圧体制をはねのけ闘う組合員、そして大量処分をはねのけ第二波ストに決起する組合員と家族の苦闘がスクリーンに再現されていった。そして、その感動もさめやらぬ中、動労千葉の布施書記長、そして被解雇者を代表して、重見特別執行委員がたたく決意を明らかにした。

最後に、司会者が「分割・民営化攻撃

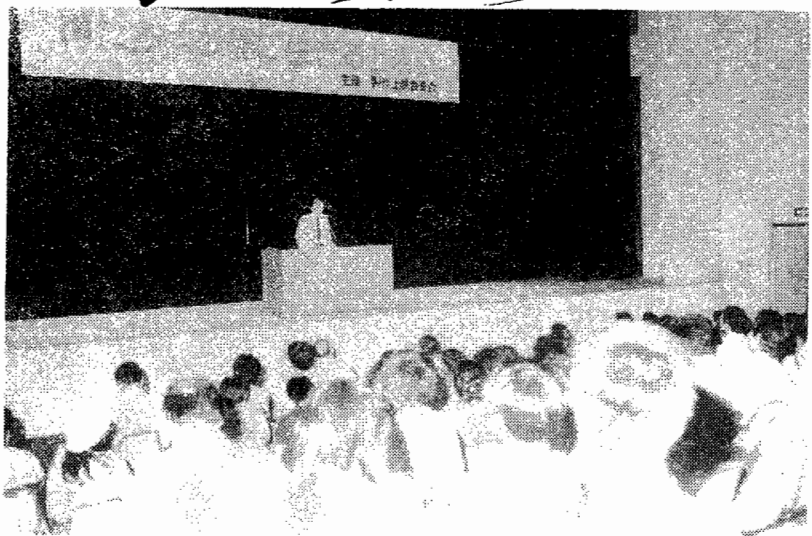
は、国鉄労働者だけに向けられた攻撃ではなく、われわれ自身に向けられた攻撃としてとらえ、皆んなの力で動労千葉を守りぬぎ、動労千葉とともに闘いに起とう」としめくくった。

## 未知の地で大きく切り 拓かれた 共闘の輪

この上映会にむけて三多摩というまったく付き合いもない未知の地域でのオルグ活動は苦闘を強いられたが、どの職場に入っても「動労千葉です」の声に快く応待してくれ、そこでは少数ではあるが原則を貫き、争議団としてたたかいぬいている労組や、真国労の卑劣な行動に怒りを話す国労役員、そして国鉄の次は日教組だと危機感をもつ教組、動労革マルのあまりの変質ぶりに驚きと非難をあらわにする民間労組など行く先々で貴重な体験の連続であつた。そして上映会に国労や国鉄職場からカンパをもつて参加する仲間や家族もあつて上映会は予想をこえる大成功をかちとった。

ロビーでの協販部即売コーナーもつめかける人達でごつたがえすほどの売れゆきを示し、仲間の暖かい支援の力を感じさせるものがあつた。  
終了後、にわかには降り出した雨も上映会の大成功とあいまって大変心地よいものとなった。

被処分者を代表しての重見特別執行委員の訴えと決意に、熱い拍手が送られた。(6月20日 立川市民会館)



全国上映 弾4弾

6.28 労働学校に集まろう  
6月28日(土)13時30分、動力車会館  
「国鉄分割・民営化法案批判」